

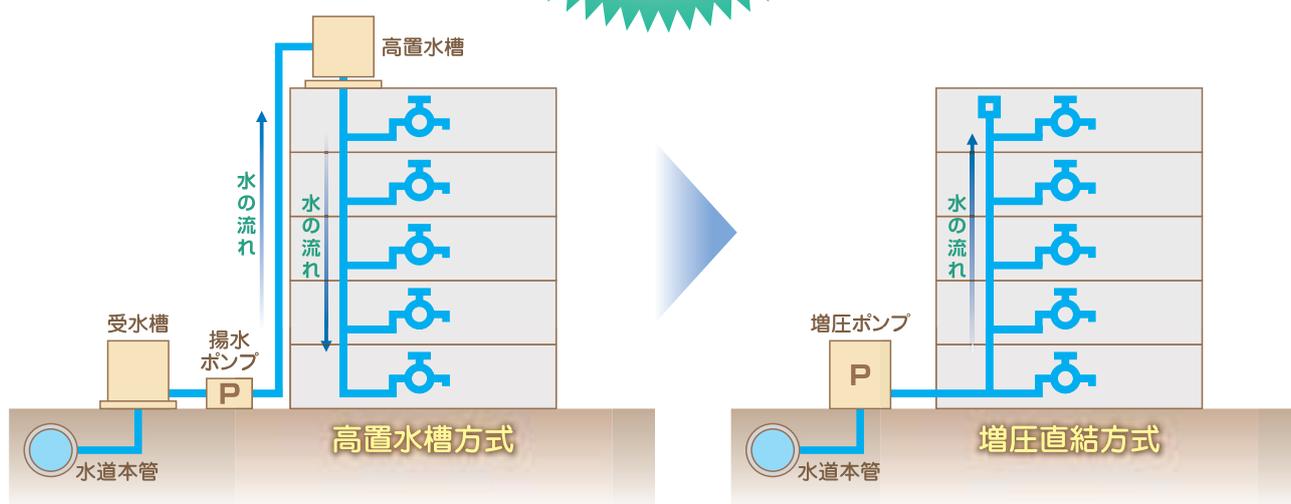
# 給水方式と省エネの関係

給水方式には、いったん受水槽に水を貯めておく受水槽式給水方式(高置水槽方式・ポンプ直送方式等)と水道本管から各戸に直接給水する直結方式(直圧直結方式・増圧直結方式)の給水方式があります。現在のマンションでは、直結された水道に圧力をかけて給水する、増圧直結方式が主流になっています。水道本管からの圧力を利用できるため、省エネ効果が高くなります。

受水槽式給水方式のマンションでも工事により増圧直結方式に変更することが可能です。

増圧直結方式への  
交換で、電気代が  
約**62%削減**

※出典:「既存マンション省エネ改修のご提案」  
一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会より



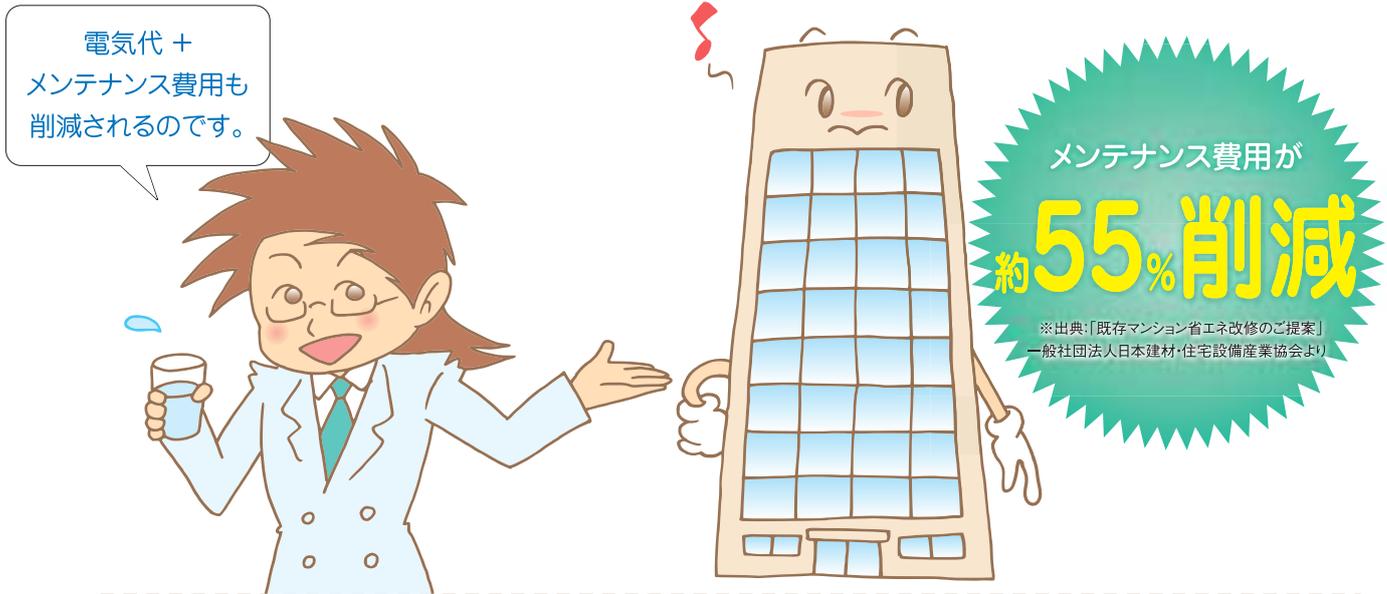
## ここに注目

### ● 増圧直結方式の特徴

- ・水道管の圧力を有効活用できるため、ポンプの省電力化が可能です。
  - ・水道本管からいつでも新鮮な水が供給されます。
  - ・受水槽、高置水槽がなくなるため、点検費用や清掃費用も不要となります。
  - ・受水槽などを撤去したスペースに駐輪場や防災備蓄倉庫を設置する等の有効利用が可能です。
  - ・貯水機能がないため、水道工事や災害等で断水になる場合には直ちに給水が停止になります。
- ※停電でポンプが停止しても、3階程度までならば水圧だけで給水ができます。

# 増圧直結方式による効果

マンション敷地内の水道管を水道本管に直結することで受水槽が不要になることから、省エネ効果が得られるだけでなく、受水槽の維持・メンテナンス費用を削減することができ、管理費の削減にも有効です。



## 二大費用削減効果

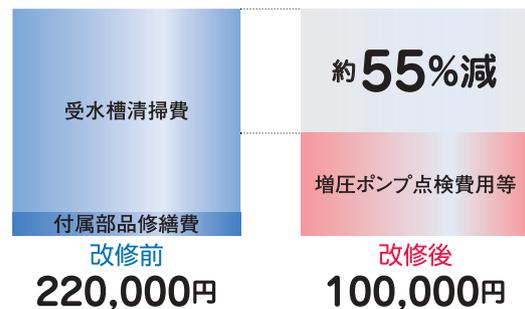
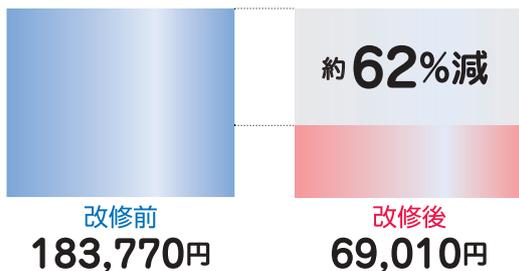
都内マンション7階建て35戸(増圧直結ポンプへの変更例)

※出典:「既存マンション省エネ改修のご提案」一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会より

### 省エネ→電気代削減

+

### メンテナンス費用削減



年間**114,760円**の電気代削減! (差額) → **合計234,760円/年** ← (差額) 合計**120,000円**のメンテナンス費用削減!

## ワンポイント

給水方式の変更に関する決議は、形状の著しい変化はないため、普通決議です。受水槽の撤去後のスペース活用方法で、形状が著しく変わる場合には特別決議となる場合もあります。

ポンプや受水槽の取替え時期や給水管の更新工事などのタイミングで実施するのが一般的です。